

出奔上羽回平麻郡に居住櫛岡長棟は長正より五代也
文和年中門を伊盛を聲より取入曉とれり実父六郷の
城主二階堂佐渡守正隆より櫛岡の城主正隆押領する
瀬丹波守阿子嶋左門侍三十余人附て龜室長棟攻
取て阿子野城主家臣山岡越前守角屋平藏并
関内藏外を至秋田郡捨山の城主秋田城に助麻季を
陰奥に押領し阿部頼義が嫡子貞任より十二代東太
郎兼任奥品市に渡りてはるるが康永元年將軍等
武公より秋田北内三郡を賜り麻季相續す延文二年
六月二日野代川より秋田城に助戸は六郷合戦秋田方

風張形ア小浦子清十郎亦免す仙北郡河隅川の城主
小野寺遠江守交通文藏冠満是七代の苗裔依後太
秀卿六代小野寺次郎秀通近江国蒲生郡小野寺に
住す文治年中右大将頼朝より上羽公をむりて建久
元年此所に住居す六代玄通より家臣葦草太林或ア小浦
より者遂に湯沢の城主高料澤正忠を信じて是へ但
したる玄通が一族小清水の城主葦草太林主殿助免後の城
主百一讃岐守飯田大牧助泉權之丞宮寺兵部少平次
主膳中田伴儀里次平兵衛水より中川の城主小野寺
義作守此時小野寺の家中駿動二つに分れ玄通屬して